

11:00～11:05	開催挨拶（本日のプログラムのご紹介） 寺尾敏康 CSAジャパン事務局
11:05～11:35	 基調講演 江崎 浩 CSAジャパン会長 東京大学大学院情報工学系研究科教授 「生成AIが加速するサイバーセキュリティビジネス」 生成AIは、全産業のITおよびOTシステムの デジタル化(DX)と構造変革を急加速させている。これまでのStove- & Pipe型のシステムのDe-Silo-ingが必須となり、地球上のすべてのシステムがCONNECTEDへと向かっている。既に、サイバー攻撃はビジネス化しており、ゼロトラストセキュリティを前提にしたActive Cybersecurityが実現されなければならない。特に、産業サイバーセキュリティにおけるクラウドシステムの関係を整理したい。
11:35～12:05	 招待講演 小川隆一氏 独立行政法人情報処理推進機構（IPA）セキュリティセンター サイバー情勢分析部 シニアエキスパート 「米国のAI脅威・ガバナンスの動向 概要」 信頼できるAIの構築には、安全性・公平性等のルールを規定し、遵守するガバナンスが重要である。バイデン政権期の米国は、AIに関する大統領令やNISTのAIリスク管理フレームワーク等を公開、技術の実装とともに、AIガバナンスでも先鞭を切っていた。しかしトランプ政権移行後これらは見直され、新たなガバナンス施策を待つこととなった。本講演ではこの経緯をふまえ、米国のAIセキュリティ脅威やAIガバナンスについて現状を報告する。
12:05～13:05	昼食休憩：主催者側で、軽食、ランチマップを用意します
13:05～13:50	 CSA本部講演 Jim Reavis CSA CEO and Co-founder 「Cybersecurity and the AI Race サイバーセキュリティ & AIレース」 Critical developments in Artificial Intelligence are making 2025 an historic year. In this presentation, Cloud Security Alliance CEO Jim Reavis connects the dots between reasoning models, agentic AI, open weight/open source LLMs, nation-state pursuits towards AI supremacy and surprising technical advances to articulate the risks and opportunities we face from a technology outpacing our ability to adapt. Jim will call for the necessity of leadership from the cybersecurity profession to be the foremost experts in this domain and show the path for pragmatic adoption. 人工知能の飛躍的な進化により、2025年は歴史的な年となるでしょう。本セッションでは、Cloud Security AllianceのCEO、ジム・レイヴィスが、推論モデルやエージェント型AI、オープンウェイト/オープンソースのLLM、国家によるAI覇権争い、さらには驚くべき技術的進展を結びつけながら、私たちが直面するリスクとチャンスについて解説します。急速に進化する技術に対し、適応のスピードが追いつかない今こそ、サイバーセキュリティ分野のリーダーシップが求められています。本講演では、この分野の最前線に立つべき専門家としての役割と、現実的なAI活用への道筋を示します。
13:50～14:20	 スポンサー協賛講演 野原峰彦氏 株式会社マクニカ ネットワークスカンパニーセキュリティ第4事業部第1技術部第1課 主席 「クラウドセキュリティ運用を成功に導くには？ ～CNAPPによるリスクベースの対策～」 クラウド移行が進む中、クラウドにおけるインシデントの事例も多く聞かれるようになりました。こうした背景からCSPMの導入が進んでいますが、実際にはCSPMから発せられる膨大なアラートへの対応に多くの労力がかかっており、CSPMを導入しても防げないインシデントも発生しています。本セッションでは「CNAPP」と呼ばれるコンセプトを解説しながら、クラウドセキュリティで多く聞かれる課題を取り上げ、それぞれがCNAPPの導入によってどのように解決・変革できるのかを、ツールのデモを交えてご紹介します。
14:20～14:35	休憩：主催者側でコーヒーを用意します
14:35～15:05	 CSA本部 & CSAジャパン 対談 Jim Reavis CSA CEO and Co-founder & 江崎 浩 CSAジャパン会長 モデレーター：諸角昌宏 CSAジャパン理事・CSA Research Fellow 対談内容調整中
15:05～15:35	 招待講演 羽深宏樹氏 スマートガバナンス株式会社 代表取締役CEO/京都大学大学院法学研究科特任教授 落合孝文氏 スマートガバナンス株式会社 代表取締役共同創業者、 ／渥美法律事務所・外国法共同事業プロトタイプ政策研究所所長・シニアパートナー弁護士 「AIを活用した経営推進のための、技術・セキュリティ変化も捉えたガバナンスフレームワークの整備」 AIの経済的インパクトは3-4兆ドルの規模とも推計され、様々なセクターの変革のドライバーになろうとしている。NACDレポートなどでも、米経営層の95%がAI投資を行っているとしている。一方で、サイバーセキュリティの強化が求められる環境下、AIを活かすためのAIガバナンス/データガバナンスが不足するとも指摘している。人口減少社会に伴う働き手不足に悩む日本では、AIの利活用は経営の死活問題である。AIを経営判断に活かすためには、目まぐるしく変化するAIをとりまく技術、セキュリティ環境の変化にも即応することが必要になる。このような課題を踏まえ、現場での判断を迅速化する意思決定のフレームワークの整備の観点で、昨今の経営とAIとの関係、経営判断・リスク管理のために、アジャイル・ガバナンスを実質化するための観点を整理する。
15:35～16:05	 招待講演 宮崎謙太郎氏 トレンドマイクロ株式会社 プラットフォームイネーブルメント部 プラットフォームマーケティンググループディレクター 「サイバーセキュリティにAIを”薬”として活かす & インシデントを起こす”毒”にしないためのブループリント」 AIは組織にとってビジネスを加速する強力なツールになり得ますが、悪用されたり使い方を間違えることで時に”毒”として作用することも。ディープフェイクによる詐欺や、LLMをはじめとする生成AIによってもたらされるサイバーリスク（毒）にはどのようなものがあるのか、そして法人組織はAIを安全に使うために、どのようにセキュリティをプロアクティブに設計（薬）するべきなのかを一緒に考えていきます。
16:05～16:20	休憩：主催者側でコーヒーを用意します
16:20～16:50	 スポンサー協賛講演 蓮井雅弘氏 ファイルフォース株式会社 プロダクトマーケティング部 「「情報漏えい」をいかに防ぐか？セキュリティと業務効率を両立するためのクラウドストレージからの最新アプローチ」 年々増加の傾向にある企業の情報漏えい事案。導入実績23,000社のクラウドストレージサービス【Fileforce®】がクライアントの情報資産を守るためにとるプロダクト戦略とは？ 今年度リリース予定の最新機能のご説明を交えながら、重大なセキュリティインシデントにつながる情報漏えいをいかに防ぐべきか、クラウドストレージからのデータセキュリティに対するアプローチをご紹介します。
16:50～17:35	 招待講演 高岡 将氏 株式会社 NTTデータ先端技術 執行役員 セキュリティ&テクノロジーコンサルティング事業本部 六宮 智悟氏 株式会社リクルート 経営管理ICTセキュリティ統括室 セキュリティオペレーションセンター部長 「AI出現による統制とセキュリティの考え方」 サイバーセキュリティという言葉が一般的になり、社内の基準や組織の整備をしていますが、次から次へと新たな技術が出現し、それに対するセキュリティ基準や体制が必要になります。 例えば、オンプレからクラウド、AIなどとトレンドが移り変わる中で、社内の基準はつぎはぎで良いのか、刷新すべきか、脅威はどこに存在するのから組織体制を変えるべきか。 本セッションでは、ここ1年でMicrosoft,AWS,nVIDIA,googleなどのグローバルカンファレンスで訴求していたポイントをNTTデータ先端技術から、迫り来るAIをどのように有効活用すべきかの基準などに立ち向かうリクルートよりお話しいたします。
17:35～17:40	閉会挨拶・懇親会ご案内 寺尾敏康 CSAジャパン事務局
18:00～	懇親会 会場：弥生講堂会議室